



政経学部

定員 400 名

政経学科 (仮称)

- 産業・地域社会イノベーションコース
- 経済経営コース
- 公共政策デザインコース



社会実装力をもつ人材を育成

地域経済・地域社会の持続可能な発展とWell-being社会の実現に向けて、研究開発によって生まれた技術やアイデアを、実際の社会や市場の課題解決に応用して広く普及・定着させる社会実装力を持つ人材や地域社会にイノベーションをもたらす人材を育成します。

- 経済学を中心とする人文社会科学の専門知識
- エビデンスに基づく論理的思考力・課題解決力
- 文理融合によるイノベーション力
- 協働力とマネジメント力
- 社会倫理と公正性

身につける能力

政経学部設置準備室長メッセージ

〈広い経済学〉と〈社会実装力〉

行政政策学類と経済経営学類は2027年4月から統合して「政経学部」になります。行政政策学類を目指したかったひと、経済経営学類を目指したかったひと、さらにはこれまでもどちらも眼中にもなかったひとまでも、ここで学びたいと思ってもらえるような新学部。目指したのはそんな政経学部です。そのために、統合するふたつの学類の中と間で長い時間をかけて話し合い、準備を重ねてきました。

政経学部が卒業生に与える学位は「経済学士」です。これは福島大学では長い歴史と伝統をもつ学位です。福島大学の経済学経営学会計学には100年の歴史がありますけれども、旧いものに安住して時代をやり過ごそうという姿勢ではありません。他の「文系学問」を整理してしまおうというリストラでもありません。まったく違います。行政政策学類にも行政社会学部以来の40年の伝統と蓄積があります。

政経学部は「産業・地域社会イノベーションコース」「経済経営コース」「公共政策デザインコース」という3つのコースを設け、それぞれにおいて経済学、経営学、会計学、法学、社会学そして人文系の知見に学ぶことを通じて、他学部とも連携しながら、社会に働きかけることのできる人材を養成します。新しい学部があらためて選んだ古い名前の学位。そこに織り込んだコンセプト、「広い経済学」と「文理融合による社会実装力」とはこんなことです。

詳しくはこの大学案内の「政経学部」のセクションを読んでみてください。夏のオープンキャンパスにもぜひ足を運んでみてください。

「広い経済学」を謳う政経学部が提供する科目は実にヴァリエティに富んでいます。多種多様な専門をもつ研究者/教育者を揃えています。すぐに役に立ちそうな学問も、なんの役に立つのかすぐにはわからないような学問も、すべて自分を守り他者を助け社会を成り立たせるための石垣の石です。すべてに等しく価値があります。それを体感したいと思う皆さんと一緒に学びたいと願っています。



政経学部設置準備室長 熊沢 透 教授



行政政策学類

経済経営学類



地域経済・地域社会の持続可能な発展とWell-being社会の実現に貢献するため
社会実装力を持つ人材を育成

政経学部が育成する社会実装力とは

- 01 地域のさまざまな資源を有効に活用して、地域を活性化するための仕組みやサービスを実装できる力
- 02 新しく生み出される技術を多様な形で事業に活用し企業や地域経済を元気にすることができる力

社会実装力

地域資源や新しい技術を活用し、新しい価値を創造できる人材を育成

地域企業の新陳代謝をけん引、地域経済の再構築に貢献できる人材を育成

公的な視点で新しい社会の姿をデザインし、伴走することができる人材を育成

産業・地域社会イノベーションコース
(文理融合コース)

100名

経済経営コース

150名

公共政策デザインコース

150名

事例 1

村上早紀子ゼミでは地域での学びを通じた活動を行っています。2025年には福島市の「わたなべ鮮魚店」の店舗前の道路空間に設置された、地域の新しい居場所となり得る「まちのテラス」を訪問し、地域づくりの視点から活用法を検討しました。



事例 2

2025年の尹卿烈ゼミでは、中小企業の課題解決を目指し3つの視点から実践的な活動を行いました。具体的に、AI導入分野と業務内容を把握できる診断ツール開発(技術)、組織活性化の手段としての役割カード制作(組織コミュニケーション)、県内企業のCSR活動の分析(社会貢献)を行いました。



事例 3

岩崎ゼミでは、地域と大学とが協働して農山村集落の再生に取り組む地域連携活動に力を入れています。二本松市東和地域や西会津町等の集落に通って地域の方々と交流しながら、棚田や里山、農村文化を活かした地域づくりについて学んでいます。



事例 4

西田ゼミでは、地域での実践からローカル・ガバナンスを学びます。原子力災害後の浪江町幾世橋地区で住民や町役場職員とまちを歩き、災害の経験や不安、地域の気づきを引き出し、共有しながら形にしていきました。震災後に姿を変えた地域が、対話を重ねながら動き出す、その瞬間に立ち会い、異なる立場をつなぐ視点と、複雑な制度環境のもとで現実を考え抜く力を養います。



政経学部の 特色

専門的知見の幅を広げる 学際的アプローチ

社会実装に関わるさまざまな分野の基本的な知識を学びながら、他分野の人々と協力するための知見を得るとともに、他の専門領域に触れることで自らの専門領域の活用範囲を広げます。



福島県全体をフィールドにした 社会実装教育

専門科目をベースに、基礎(課題理解と知識の習得)、応用(解決策の設計)、実践の3段階の学びを4年間で積み上げます。連携する企業や自治体等をフィールドとして実践的に展開していきます。最終的な成果は、卒業時に学内外で発表します。



ディープデータを活用した データ分析教育

ビッグデータなどの数値データを利用した標準的な分析で一般的な状況を把握しつつ、地域固有の深い情報(ディープデータ)を丁寧に読み取り、地域に合わせた適切な判断ができる力を養います。



教員に聞く ～ゼミで学ぶ意義とは～

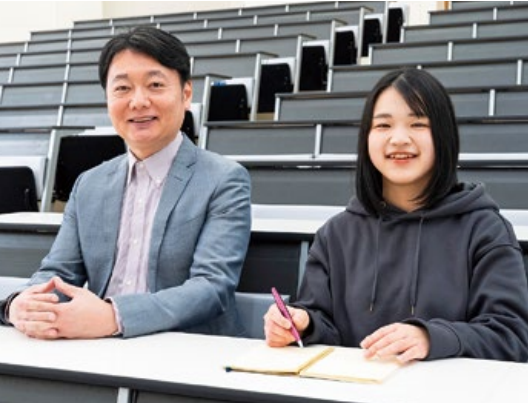
行政政策学類 金井 光生 教授
研究分野 憲法哲学、憲法学（法律・政治）

「全世界の国民の平和的生存権」が前文に掲げられている憲法は、私たちが安心して暮らすために不可欠なものです。ゼミでは人権問題や情報通信に関することを取りあげることも多く、最近ではAIやSNSなど、表現の自由と関連したさまざまな問題をどう考えるかについても議論しています。難しいものと思われがちな憲法ですが、世の中を良くし、自分の将来だけでなくみなさんの生活にも関わることなので、概要だけでも知っておけば、日々の暮らしにもきっと役に立つと思います。

行政政策学類 金井ゼミ

日本国憲法の中でも人権や統治機構を中心に、学生の要望に応えながら、今話題になっているテーマや問題になっている事柄を掘り下げ、東日本大震災や原発事故に関連したものや、日本国憲法誕生に影響を与えた福島県出身の人物についても取り上げています。

憲法を知っておくことが 自分の生活を支える力になる



学生に聞く ～ゼミを通して学んだことは～

行政政策学類 3年 橋本 真侑 さん

今の憲法は戦後公布されてから変わっていませんが、条文に込められた制作者の意図をきちんと読み解かないと理解できないと感じています。条文の行間にある、文字になっていない部分にどんな思いが込められているかを考えるのですが、専門家によっても見解が分かれるため、自分なりの解釈を導き出す力が大切だと学びました。解釈は時代とともに変わっているので、社会的な事例と組み合わせる必要があるのも憲法の面白さでもあると感じています。

教員に聞く ～ゼミで学ぶ意義とは～

行政政策学類 照沼 かほる 教授
研究分野 映像文化、アメリカ文学、アメリカ文化

今年度ゼミで取り上げた小説「フランケンシュタイン」（1818）は、過去に何度も映画化されていますが、ホラー作品として扱われることが多いもの。でも実は、原作にはさまざまな社会的テーマや、作られた当時の世相が反映されていて、それぞれ映画化された際には、どの国のどんな人が鑑賞するかによって盛り込まれる文化や表現が異なっています。いくつかの作品を見比べることでその違いを探るのも面白いし、観た人によって受け取り方も違うので、ゼミでの学びを通じて多様性を知ることでもできるのではないのでしょうか。

行政政策学類 照沼ゼミ

英米文学の原作を読んだ後に映像化された作品を鑑賞し、その時英米文学の原作を読んだ後に映像化された作品を鑑賞し、その時代背景や、どういった意図で原作とは表現が変えられたかなどを比較することで、作品の背景にある文化や社会問題を解き明かしていきます。

物語が生まれた時代背景を鑑みながら さまざまな視点による理解力を養います



学生に聞く ～ゼミを通して学んだことは～

行政政策学類 3年 酒井 奏美 さん

個人発表の際に、30年以上前に放送されたドラマ「29歳のクリスマス」を題材にしたことがありました。トレンドドラマを知らないゼミ生にその説明をすることから始まり、タイトルに込められた意味やドラマの社会的背景を伝えました。私はジェンダー問題にも関心があったので、女性のキャリアについての考えも伝えましたが、それに対して他の人の意見が自分とは異なることも興味深かったです。元々映画が好きでこのゼミを選びましたが、監督が描きたかった部分に気づけるようになって、映画を観るときの視点が変わったと感じています。

教員に聞く ～ゼミで学ぶ意義とは～

経済経営学類 奥本 英樹 教授
研究分野 コーポレート・ファイナンス、会計学

地元テレビ局と共同で行っている動画制作プロジェクトでは、経済学の理論やトピックをテーマに、中高生にも分かりやすい身近な事柄を題材にした動画を制作。「福大経済学lab.」として、これまで11本をYouTubeにアップしました。学生自身が題材選びからシナリオ作成、撮影、出演まで全て行っているので、制作を通して、経済学は日常生活に溶け込んでいるのだと気づくことができます。人生は常に選択の連続ですが、ゼミでの活動を通じて実践力や社会実装力を身に付けることで、意思決定のヒントになるのではないかと思います。

経済経営学類 奥本ゼミ

経済学は、個人や企業などの意思決定と、お金や人、モノの流れといった社会全体の動きとの関係を分析し、論理的に証明する学問です。ゼミでは企業とのコラボや株式投資などを通じて、自分の選択が社会にどのような変化をもたらすのかを体験し、学びの幅を広げています。

経済学は、人が幸せになるための 仕組みを考える、身近な学問です



学生に聞く ～ゼミを通して学んだことは～

経済経営学類 3年 石井 陽 さん

ゼミでは学生が実際に株を購入し、株式投資や企業分析のスキルを学ぶ活動をしています。将来の社会需要を予測したり、企業の業績などを考えたりして銘柄選択を行い、チームごとになぜその銘柄を選んだのかについてプレゼンテーションも行います。私たちのチームでは、社会生活に欠かせないインフラ業界や、今後発展していくであろうAI業界の株式を購入しましたが、実際の株式市場の動向が気になったり、購入した企業や業界に関するニュースにも関心が向くようになってきたりと視野が広がり、実践的な学びができています。

住民の移動手段を整えることが 暮らしやすい地域の未来につながる

コロナ禍以降、公共交通利用者数の減少や運転手不足による路線バスの減便など、地域交通の課題は多様化しています。地域モビリティ戦略研究室（吉田研究室）では、車を運転しない高齢者や高校生の移動支援策として、通常のタクシーを定額制で利用できる仕組みを提案し、南相馬市や本宮市、山形県米沢市などで実装されています。また、学生がフィールドワークを通じて拾い上げた公共交通に対する地域住民の声をまとめ、自治体や交通事業者に働きかけるなど、地域が抱える交通問題の解決方法を探る取り組みをしています。

経済学や社会学などを学ぶことで得られる専門的な知識と、県内外で行うフィールドワークという実践の場の両面から「地域を見る目」を養うことができるこの研究室には、経験を重ね、学びを深めたいという学生が全国から集まっています。彼らと一緒に多くの課題に取り組み研究を深めることで、多様化する地域交通の問題を解決していければと思っています。



山形県南陽市沖郷地区の定額タクシー「おきタク」の改善策を発表する学生



いわき市内の地域交通に関するグループヒアリング

Notable Research



経済経営学類 経済学コース
吉田 樹 教授
研究分野 地域交通・観光政策、まちづくり、地域経済

社会的課題と企業の財務状況の 関連についてデータから読み解く

財務会計とは、貸借対照表や損益計算書など、企業の財務状況を投資家や債権者といった社外の利害関係者に情報開示するための会計です。開示された情報に株主や銀行がどういった反応をするかデータを集め、研究を行っています。近年、資産や負債、利益などの会計数値情報だけでなく、女性管理職の数や男性の育休取得率、障がい者雇用の割合なども、重要な企業情報ととらえるべきではと学会でも議論されています。こうした情報が財務数値にも少なからず影響があると分かってきたので、因果関係がクリアになれば興味深い研究になると感じています。企業がどの分野に力を入れているか、社会的課題にどう向き合っているか、そういった背景にあるさまざまな動きが数字に表れてくるのが財務会計の魅力。代表者のメッセージや企業の倫理観もそこに反映されると言えるので、財務情報の解析を通じて見えてくる企業の課題についても明らかにしていければと考えています。



2021年には、会計学を中心とするプレゼンテーション大会にゼミ生が参加。女性管理職比率が高いと財務業績にも関係性があるという結論を導き出し、ブロック大会で優勝し決勝に進出した



経済経営学類 経営学コース
根建 晶寛 准教授
研究分野 財務会計、経営学、コーポレート・ファイナンス

新たな視覚で歴史を見直せば、 現代を捉える視点も変わるはず

私の研究の出発点は地方制度史で、直近では、明治時代に設立された福島第六国立銀行について研究しました。当時、重要な輸出品である生糸市場があった福島には日本中から商人が訪れ、生糸の買い付けを行いました。その荷為替を取り扱う銀行として第六銀行が設立されたのですが、その立ち上げに携わったのが、福沢諭吉と関わりの深い元三河藩士たちでした。ところが、政府内で福沢派の影響力が大きくなることに不満を抱いた外務大臣・陸奥宗光の策略により、第六銀行は営業停止に追い込まれます。第六銀行の盛衰を調べることで、中央政府の利権を巡る争いの構図が如実に見えてくるのです。視点を変えれば、今まで見えてこなかったものに気づくことができます。多様化する現代社会をとらえる目を養うためには、固定概念にとらわれずに歴史を新たな視点で考察していく研究が必要。それを世の中に送り出すことが私の使命だと思い、今後も研究を続けていきたいと思っています。



県庁にある福島城址の碑（写真上）と紅葉山公園の板倉神社（写真下）。古地図から地方行政の変遷を読み解く研究を長年行ってきました。現在でも講義では学生たちと福島市内を歩いて古地図と比べ、考察するフィールドワークを行っています



行政政策学類 地域政策と法コース
荒木田 岳 教授
研究分野 地方制度史、地方行政論

福島県全体をキャンパスに社会実装力を育てるとともに
専門的知識を身につけ考察力を深める

1年次から一貫した連動性のある科目を履修し、福島県全体をキャンパスに企業・自治体との連携を通じて現代の地域社会にイノベーションをもたらす「社会実装力」を持つ人材を育成します。2年次から地域資源や新技術を活用し新しい価値を創造する「産業・地域社会イノベーションコース」、地域企業の新陳代謝をけん引し地域経済を再構築する「経済経営コース」、公的な視点で新しい社会の姿をデザインし伴走する「公共政策デザインコース」のいずれかのコースに所属します。



取得学士号

学士（経済学）

取得できる
免許・資格

- 高等学校教諭一種免許状（商業）
- 社会教育主事（基礎資格）※1・社会教育士
- 学芸員 ※2
- 社会福祉主事（任用資格）※3

※1 必要単位を修得し、卒業後1年以上、社会教育主事補としての職に従事することが必要です。
※2 「博物館に関する科目の単位」を修得することが必要です。
※3 必要単位を修得し、卒業後、地方公務員として任用され、福祉事務所などの部署に配属される必要があります。

1年次		2年次		3・4年次				
第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター	
専門教育	専門基礎科目 ミクロ経済学入門 社会学原論 政治学入門 マクロ経済学入門 政治経済学入門 経営学入門 簿記概論 歴史と社会 現代法学論 データ分析科目 統計学入門 社会実装科目 社会実装入門Ⅰ 社会実装入門Ⅱ		産業・地域社会イノベーションコース コース基礎科目 データ分析科目 社会実装科目 社会実装演習Ⅰ 社会実装総合Ⅰ 社会実装演習Ⅱ 社会実装総合Ⅱ		コース発展科目 文理融合科目 他コース科目 卒業研究科目 社会実装実習Ⅰ 社会実装実習Ⅱ 社会実装実習Ⅲ 社会実装実習Ⅳ			
			経済経営コース コース基礎科目 データ分析科目 社会実装科目 社会実装演習Ⅰ 社会実装演習Ⅱ		卒業研究科目 社会実装実習Ⅰ データ分析実習Ⅰ 専門演習Ⅰ 社会実装実習Ⅱ データ分析実習Ⅱ 専門演習Ⅱ 社会実装実習Ⅲ データ分析実習Ⅲ 専門演習Ⅲ 社会実装実習Ⅳ データ分析実習Ⅳ 専門演習Ⅳ			
			公共政策デザインコース コース基礎科目 データ分析科目 社会実装科目 社会実装演習Ⅰ 社会実装演習Ⅱ		卒業研究科目 社会実装実習Ⅰ データ分析実習Ⅰ 専門演習Ⅰ 社会実装実習Ⅱ データ分析実習Ⅱ 専門演習Ⅱ 社会実装実習Ⅲ データ分析実習Ⅲ 専門演習Ⅲ 社会実装実習Ⅳ データ分析実習Ⅳ 専門演習Ⅳ			
基礎教育	アカデミックスキルズ	スタートアップセミナーⅠ・Ⅱ 社会とデータ科学の基礎						
	ライフマネジメント	キャリア形成科目／健康・運動科目／キャリア設計科目						
	外国語	英語Ⅰ・Ⅱ／英語以外の外国語初級／英語以外の外国語発展						
	教養	地域課題に取り組む／データに基づいて考える／多様な視点から考える／普遍的価値観を知る						
自由選択領域								

産業・地域社会イノベーション コース

地域資源や新技術を活用し、
新しい価値を創造する

企業、行政、地域社会などが抱える諸課題の解決のための方策を検討し、提案することができる人材の育成を目標としています。新技術や地域の文化的資源の利活用により、地域社会・文化・経済領域で新しい価値を創出できる力を重視し、そのための諸能力を養うことを目指します。

そのため、地域社会・文化・経済とその動態に関する学びを基礎に、データ分析方法や自然科学分野を含む専門的知識の学際的学修、調査とデータ分析の経験を積んでいきます。



経済経営 コース

地域企業の新陳代謝をけん引し、
地域経済を再構築する

経済学、経営学、会計学の基礎的な考え方を土台として、企業活動に関わる適切な判断を行うための専門性および経済活動のために必要な法的知識を体系的に学修します。そして、得られた知見・知識を元に、地域企業の成長、地元企業やコミュニティと連携した課題解決、社会実装に取り組むことができる人材を育成します。



公共政策デザインコース

公的な視点で新しい
社会の姿をデザインし伴走する

経済学、政治学、法学の素養を身につけながら、実証データの重要性と知見の社会実装を意識し、地域の団体・自治体等と連携した実践的学修を行います。それらの学修を通じて、公務員、公的機関や行政法人、社会的企業やNPOの職員として公共政策領域のさまざまな課題に取り組み、公共の福祉と利益に資する活動を推進し、将来的には政策方針立案を担う人材を育成します。



PICK UP!

地域環境論ゼミ ～人と自然が育む地域資源と文化～

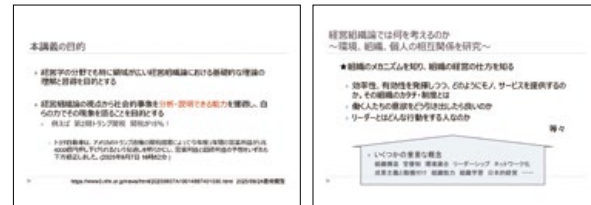
高齢化と人口減少が深刻な中山間地域には課題が山積していますが、自然環境や暮らしの中には課題解決の糸口となる地域資源が豊富にあります。学生は「共事者」として住民交流を育みながら、地域の環境史にあわせて資源の現地調査を進めています。机に向かっているだけでは得られない現場の知識と直観をもとに、「正解」がない難問に取り組んでいます。



PICK UP!

経営組織論

経営組織論の魅力は「人が集まると何が起きるのか」という問いに答えてくれる点です。企業がどう意思決定し成長するのか。NPOや社会的企業といったハイブリッド組織が、社会的使命と営利性をいかに両立させるのか。企業だけでなく、部活やサークル、アルバイト先、地域活動など、私たちは日常的に何らかの組織に関わっています。組織を理解することは、身近な場面から自分の生き方を考える力になります。



主な科目

- 地域経済学
- 地域経営論
- 地域社会学
- 地域環境論
- 都市計画・まちづくり論
- ソーシャルイノベーション論
- イノベーションデザイン
- 知的財産権と産業
- マーケティング論
- マーケティングリサーチ
- 経営組織論
- 環境経済学
- 歴史と社会
- 東アジア近代史
- 考古学
- 比較経済史
- 世界経済論
- 地域史
- 刑事法と刑事政策
- 社会調査論
- 情報社会論
- 社会学原論
- 欧米文化論
- 国際文化交流論

主な科目

- ミクロ経済学
- マクロ経済学
- 金融論
- 産業組織論
- 国際経済学
- 計量経済学
- 経営学概論
- 組織行動論
- 経営戦略論
- 人的資源管理論
- 経営情報分析
- 会計学概論
- 原価計算
- 財務諸表論
- 租税法概論
- 税務会計
- 会計監査論
- 民法総則
- 民法（債権各論）
- 民法（債権総論）
- 民法（物権・担保）
- 民事手続法

主な科目

- 公共政策論
- 行政学
- 国際政治論
- 現代政治理論
- 地方行政論
- 政治過程論
- 社会政策
- 公共経済学
- 政治経済学
- 労働経済
- 経済政策
- 地方財政論
- 財政学
- 現代法学論
- 憲法（人権）
- 憲法（統治機構）
- 行政法
- 国際法
- 犯罪と刑罰

教員紹介 ※2026年4月1日現在

- 阿部 浩一 (日本中世史・文化史)
荒 知宏 (国際経済学)
荒木田 岳 (地方制度史)
生島 和樹 (会計学)
石川 俊介 (地域社会学)
石川 大輔 (マクロ経済学)
伊藤 俊介 (朝鮮近代史)
稲村 健太郎 (租税法)
井上 健 (統計学)
今西 一男 (都市計画論)
井本 亮 (日本語学)
岩崎 由美子 (社会計画論) ※
浦谷 知絵 (民事訴訟法)
奥本 英樹 (ファイナンス)
小田 和正 (社会学史)
垣見 隆禎 (地方自治法) ※
金井 光生 (憲法学)
川崎 興太 (都市計画・まちづくり)
菊池 智裕 (西洋経済史)
菊地 芳朗 (考古学)
岸見 太一 (現代政治理論)
貴田岡 信 (管理会計) ※
吉高神 明 (国際公共政策論) ※
金 善照 (組織行動論)
金 敬雄 (言語文化交流論) ※
久我 和巳 (文芸社会学) ※
クズネツォーワ・マリナ (社会学) ※

- 熊沢 透 (社会政策)
黒崎 輝 (国際政治学)
ぐんすけふおんけるん・まるていーな (外国語教育法) ※

- 阪本 尚文 (憲法・歴史理論)
佐々木 康文 (社会情報学)
佐藤 英司 (産業組織論)
鈴木 めぐみ (国際法)
朱 永浩 (アジア経済論)
末吉 健治 (経済地理学) ※
十河 利明 (アメリカ経済論) ※
大黒 太郎 (政治過程論)
高橋 準 (家族社会学) ※
高橋 有紀 (刑事法)
田村 奈保子 (フランス文学) ※
照沼 かほる (アメリカ文化)
徳竹 剛 (日本近代史)
中里 真 (民法)

- 西田 奈保子 (行政学)
沼田 大輔 (環境経済学)
根建 晶寛 (財務会計)
野口 寛樹 (組織論)
廣本 由香 (環境社会学)
福島 雄一 (商法) ※
福富 靖之 (理論言語学) ※
藤原 遼 (財政学)
マッカーズランド フィリップリロイ (英語教育法)

- 真歩に しょうん (第二言語習得)
三家本 里実 (労働過程論)
村上 早紀子 (都市・地域計画)
村上 雄一 (日豪関係史)
山崎 暁彦 (民法)
尹 卿烈 (経営戦略)
尹 海園 (公共政策論)
吉田 樹 (地域交通政策)

※政経学部専門授業担当なし

授業科目



**物流現場での学びを発表・討論することで
論理的思考力を養い、実社会への理解を深める**

朱 永浩先生

朱永浩ゼミでは、私たちの暮らしや経済を支える「物流」に注目し、座学と現場体験を組み合わせた実践的な教育活動を行っています。物流企業や税関など、物流を支える関係機関を訪問し、モノがどのように運ばれ、社会や地域経済をどのように支えているのかを、海外研修や学外見学を通じて実際の現場で学ぶことを大切にしています。

研修後には、報告書の作成や研究発表を通じて、実社会と学びを結びつけながら、現場で得た知見を自分の言葉で整理し、他者に分かりやすく伝える力を養います。こうした学びを通じて、学生は「なぜそうになっているのか」を考える力や、課題を発見し、論理的にまとめる力を身につけていきます。

また、学年を超えた共同作業や討論を通じて、主体的に学ぶ姿勢や協働する力も培われます。実社会への理解を深めることで、自身の関心や適性を見極める機会ともなり、将来の進路選択や就職活動において、自らの学びを具体的に説明できる力へとつながっています。



台湾物流大手KerryLogisticsNetwork社への訪問調査



東京証券取引所（JPX）見学の様子





**古文書の記録保全を実践的に学び
被災した地域の史料を守る**

阿部 浩一先生

歴史学は、過去の事象について文字で書き残された資料（＝史料）をもとに探究し、その意義を考察する学問です。史料のうち、過去の人々が証拠や手紙等として書き記した文書が効力を失ったものを古文書（こもんじょ）と言いますが、古文書学実習では本物の古文書を利用し、記録保全のための一連の過程を実践的に学びます。本学部の最大の特徴は、災害により救出された資料をお預かりし、記録整理したうえで返却するという、地域貢献の役割を果たしていることです。福島県は東日本大震災、令和元年東日本台風、2度の福島県沖地震など、たび重なる災害に見舞われてきました。大規模災害で被災し、解体せざるを得なくなった建物の中から救出した資料を記録整理して返却する活動は、文化の力による復興支援であり、皆さんも歴史学の社会貢献を実感できるはず。さらに実習の成果は、地域の歴史研究の基盤整備という大切な役割ももっています。

■エキスパート・プログラム

・会計エキスパート・プログラム



**100有余年の歴史を持つ福島大学の会計学を学び
会計のエキスパートを目指す**

福島大学政経学部は、全国7番目かつ東北唯一の旧制官立高商を起源とし、100年を超える歴史があります。その歴史の中で、多数の優秀な卒業生を輩出してきましたが、このうち会計学分野の卒業生の進路は、研究者、公認会計士、税理士、国税専門官、金融機関のトップマネジメントや、企業のCFOなど、多岐にわたります。

このような伝統を受け継ぎ、発展させるために、前身の経済経営学類において、2019年から「会計エキスパート・プログラム」を開始しており、政経学部でも継続して実施することとしています。

このプログラムは、会計エキスパートを養成するため、検定試験の合格に基づく単位認定、および一部会計学関連科目の早期履修を認めるものです。また、一定のプログラム修了要件を満たした場合には、「[会計エキスパート・プログラム修了証]」が授与されます。

※政経学部における会計エキスパート・プログラムの内容は、一部変更になる場合があります。

・法エキスパート・プログラム



**実践的な法学教育を通し、
地域の法律専門職を目指す**

現代社会の複雑な課題を解決するために必要なのは、正解のない問いに対して社会規範や政策を通じ、論理的な答えを導き出す「法的思考力」です。本EPでは、各コースの垣根を超えて、「法」を体系的、専門的に学び、問題解決の力を育むような特別なプログラムを提供しています。

【具体的な学びのステップ】

理解を深める	現場に学ぶ	実践で磨く
専任教員の指導のもと、最新の学説や裁判例を検討する演習や研究会を実施します。教科書の一歩先にある、現代のリアルな法的問題に触れます。	裁判所、議会、刑務所等の施設見学や、実務を担う地域の司法・法務行政関係者らとの交流を通じて、法学の現状を肌で感じます。	少人数のグループに分かれ、討論会を開催します。学んだ知識を実践する力を養います。

こうした実践的な法学教育は、裁判官・検察官・弁護士をはじめとする法曹界への挑戦だけでなく、司法・法務行政等に関わる公務員、企業の法務担当者など、社会を支えるさまざまな法律専門職としての進路を後押しします。





行政政策学類生の **1週間** & 経済経営学類生の **4年間** の学びをのぞいてみよう！

政治や社会学だけでなく、さまざまなジャンルを学べます！

行政政策学類 1年 生 天目 恩 さん

夢中になっていること 自炊を頑張っています！

所属サークル 放送部

将来の夢 過疎地域の活性化に取り組みたい

	月	火	水	木	金
1	食品の機能	必修 社会学原論	必修 現代社会からのアプローチ	ちからとうごき	震災とその後について学ぶ、福島大学ならではの科目です
2		高校で習った歴史や倫理と深く結びつきがある興味深い講義	倫理学	ロシア語	ふくしま未来学入門Ⅱ
3	英語		伝統文化などの映像を見ながら楽しく学べます	必修 問題探求セミナー	英語
4	必修 現代政治論			いろいろな視点で考えることで新たな気付きが生まれます	被災地の人にインタビューしてアーカイブにまともめます
5					むらの大学

Comment

2年次になると、以前から学びたいと思っていた福島県で起こった歴史的な事柄や、大学で新たに興味をもった地域づくりや地域活性化についての授業が始まります。将来の夢に向かって、力を入れて学んでいきたいです。

学外活動

学外の大学生向けにインターンシップを仲介する団体に所属。目上の人と話したり、ビジネスについて学んだりできるほか、学生向けのイベントの企画にも関わり、人前で発表するなど、そこで得た経験が刺激になっています。





経済経営学類 3年 横江 俊亮 さん

夢中になっていること 温泉めぐり

所属サークル Key'sボランティア/経済バスケットボール

将来の夢 会社の顔のような存在になりたい

1年次	2年次	3年次	4年次	卒業後
お金や社会の動きの基礎を学ぶ	経営学コースを選択	ゼミを通して企業と一緒に活動し成果を発表	講義はゼミと卒論を残すのみ	関東圏の企業に就職が内定
ネイティブの先生による英語の講義は、始めはリスニングに苦労しましたが、会話を中心に楽しく学べました。経営の講義は答えのない学問ですが、自分なりの考え方で学べる自由度が自分に合っているなと思いました。	中小企業の経営者と一緒に活動するゼミに参加し、店舗のインスタグラムを立ち上げSNSでの集客やマーケティングに関する活動をしました。授業を通して経営者の話を聞く機会も増え、経営に関する知識が深まりました。	ゼミでは、中小企業のニーズに合わせたAIを紹介するためのツール作成を行いました。作成にもAIを使い、何度も修正しながら知識のない人でも使いやすいものを考案し、成果発表も行ったことで自信もつきました。	卒論についての研究を深めるのはこれからですが、3年次にAIに関する取り組みを行ったので、AI関連の研究を高めていけたら面白そうと思っています。ほかに哲学など社会に出てから役立ちそうな講義も受ける予定です。	現在は就職活動もほぼ終わり、卒業後は県外のメーカーで営業や調達の部門で働く予定です。ずっと福島県で暮らしてきたので、一度離れてみることで、新たな魅力を感じることができるとかと思っています。

Comment

経営学コースは、組織の特徴や市場の種類など、経営者目線での学びが中心となります。アルバイトをした時には、学んだ知識を元に何が売れているのか、どうすれば売れるのかを自分なりに考察することができました。

Best memory

ボランティアサークルでは、サッカーの福島ユナイテッドFCのイベント運営に携わりました。来場者にフェイスペイントを行ったり、子どものサッカー教室の受付やマスコットの着ぐるみに入ったりと、さまざまな体験ができました。



経営者と一緒に活動したことで、企業の求めるものが見えてきました



※所属・学年は取材当時のものです

地域で活躍する先輩たち

福大発 ▶ 社会人



ゼミでのフィールドワークを通じて、住民の声を聞き、課題解決につなげる力が付きました

福島県庁
穂住 響也 さん (行政政策学類2024年卒業)

行政政策学類では、1年次からゼミが活発に行われます。ディスカッションしながら進めることが多く、考えを分かりやすく説明するプレゼンテーション力が養われたと感じています。現在は福島県庁の健康づくり推進課で県民に向け禁煙や受動喫煙の防止を呼びかける事業に携わっていますが、そこでも自分のやりたいことや提案を分かりやすく説明する際に、プレゼンテーション力が役立っていると思います。

配属されてすぐ世界禁煙デー・禁煙週間を啓蒙するライトアップ事業を任せられ、5月末に県内各地でライトアップを行いました。県内各地の施設や県庁本庁舎をライトアップするということもあり、県庁本庁舎のほかの課や保健福祉事務所、協力事業所との調整は大変でしたが、無事成功して上司からも労いの言葉をいただき、成長と達成感を得ることができました。今後も福島大学での学びを活かしながら、県民の皆さまの暮らしを守る役割を果たしていきたいです。



大学の学びで一番よかったところは？

1～2年次に簿記を学び、3級を取得しました。さらにその後、2級レベルの講義を受けたことで財務諸表が読めるようになり、それが金融の仕事での自信につながっています。ほかにもファイナンシャル・プランナー3級を取得しました。学生のうちに目指す業界の知識を身につけておくことが、将来の仕事の幅を広げると感じています。

夢を叶えるためにがんばったことは？

大学の講義で当行頭取の講演があり、「銀行は地域のためにある」という話に心を打たれて金融業界を目指すようになりました。面接に向けた質問集を自分で作成し、どう答えるかを箇条書きにして何度も練習し試験に臨みました。就職試験ではコミュニケーション力を問われることが多いので、自分の考えをまとめて伝えるディスカッションの講義も受けました。

後輩へのメッセージをお願いします

高校時代に比べ時間に余裕ができるので、勉強以外のことにも挑戦してほしいです。私はインターンシップを通して目上の人との接し方を学び、社会人になる上でも大きな勉強になったと感じています。サークル活動では他の大学との交流もあり、コミュニケーション力を育むことができたので、興味があることは積極的に取り組んでほしいですね。



大学の学びで一番よかったところは？

地域の課題を考えるゼミに魅力を感じ、3～4年次には地域の課題を考えるためのゼミに所属しました。フィールドワークを行い、高齢化が進む福島市の団地で住民の声を直接聞き、見えてきた課題をどう解決していくかを探ったこの取り組みは、現在の仕事でも、どのような事業を展開していけば県民の皆さまによりサービスを提供できるか考えるのに役立っていると感じています。

夢を叶えるためにがんばったことは？

最初から公務員を目指していたので、3年次から大学の公務員試験対策講座を受講しました。また、アルバイト先の先輩に県職員になった人がいたので、具体的な話を聞くことで、自分が働く姿をイメージすることができました。国家公務員にも合格しましたが、福島県の魅力を伝えていけたらと思い、福島県庁への入庁を決めました。

後輩へのメッセージをお願いします

大学の4年間は、自分が何をやりたいのかを探す時期。勉強はもちろんですが、学生のうちにいろいろな経験することが大事です。好きなことを追求し、やったことのないことにチャレンジしてみれば、新しい発見があり、それが将来目指す道につながるかもしれません。



東邦銀行
白岩 千奈 さん (経済経営学類2023年卒業)

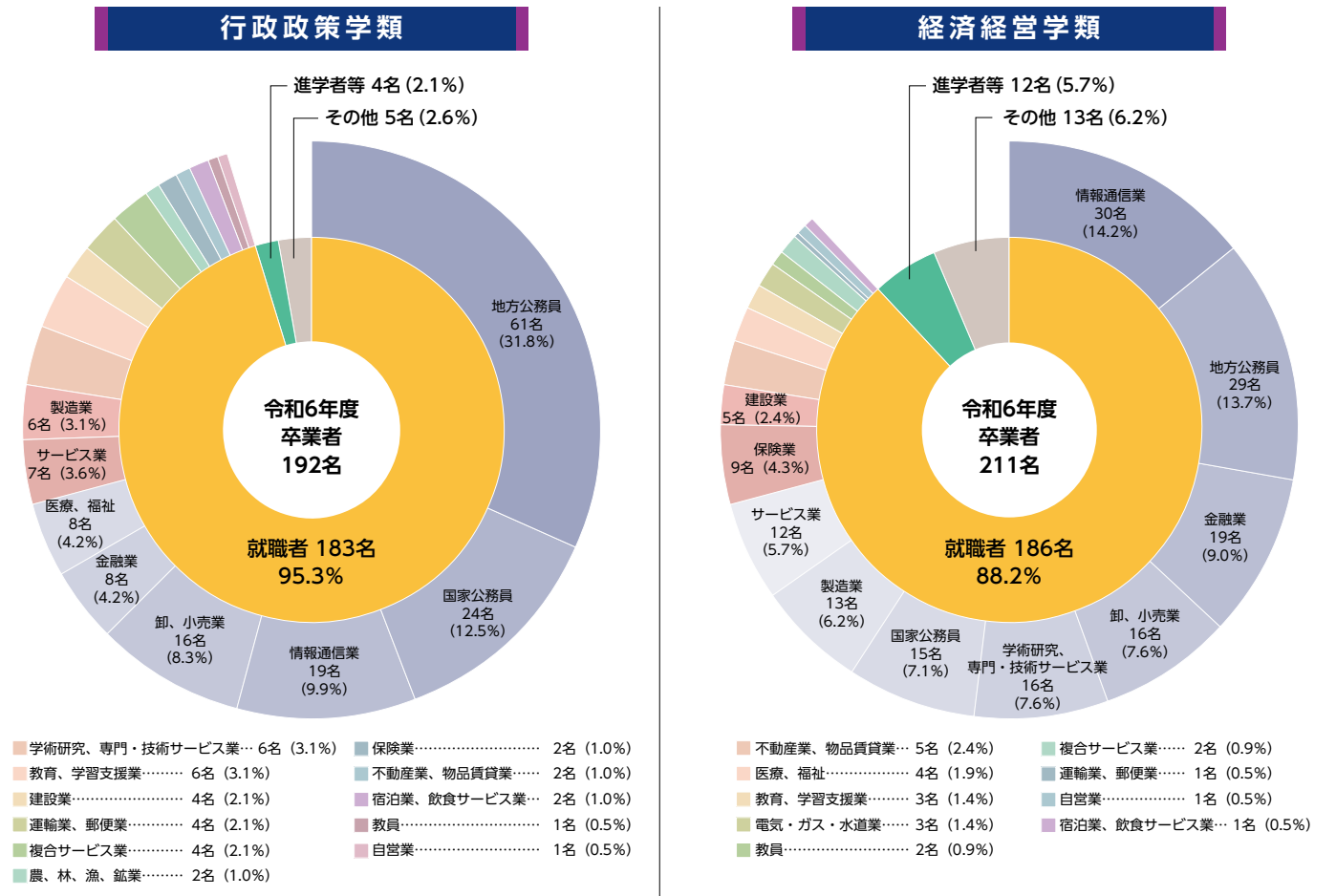
大学では主に経営に関する講義を履修しました。そこで学んだ知識や、簿記など経済関連の資格を取得したことは、現在の仕事にも役立っています。

入行してからは、銀行の窓口で主に個人向けのローン業務を担当しています。教育ローンやオートローンなど、お客さまが必要とされるものはさまざまで、借入条件も異なるため幅広い知識が必要とされます。ご希望に合わない場合には別の商品をご提案することもあります。お客さまの生活を豊かにするお手伝いができて感謝されることも多く、やりがいを感じています。大学時代に身に付けたコミュニケーション力が、お客さま対応や、同僚・上司との意思疎通にも役立っています。今後は法人向けの融資も担当するようになるので、お客さま一人ひとりに合った提案をできるよう、さらに上の資格取得を目指し知識を深めていきたいです。

※所属は取材当時のものです

進路情報

政経学部へ統合される行政政策学類と経済経営学類の進路情報・業種別就職状況



政経学部誕生までの沿革

政経学部は、行政政策学類と経済経営学類がそれぞれの強みを融合させながら統合し、誕生します。



福島大学政経学部